

2022（令和4年）年度

海外事業報告

1) 環境保全事業

<④自然環境の再生を図る事業>

事業地：マダガスカル・マンゴロ県

Ambohidava village, Ambatsoatra commune, Alaotra Mangoro
Region

助成団体：国土緑化推進機構

助成金：1,252,000円

事業内容：マダガスカルの自然再生（植林活動）

アンボヒダヴァ村において、森林を再生しつつ土砂災害を防止する環境修復活動を行った。アンボヒダヴァ村において、土砂災害を防止することを目的とした環境修復活動を行った。草原を整備し、以下の樹木を植樹した。アカシア(Acacia・mongue) 6,000本、ユーカリ(Eucalyptus) 9,000本、ピナス・パツラ(Pinus/patula) 500本、である。例年に倣い、前者2種は傾斜が比較的緩やかな平地に植樹し、後者の1種はやや急斜面に植樹した。これらの植樹サイトはアンボヒダヴァ村の5つのエリア(commune)、に計10ヘクタールの中に植樹した。参加者はおよそ1,500人であった。肥料は購入したが、農具は他の村から貸し出しができたため購入しなかった。住民は専門家から植樹の指導を受け、植樹した。

2) 図書館建設事業

<③途上国における教育水準の向上に必要な事業>

事業地：タイ・チェンマイ

Thailand Chiangmai

助成団体：ひろしま祈りの石国際教育交流財団

助成金：1,482,000円

事業内容：図書館建設

建設は建築経験のある教師たちが中心に行った。予算は少しオーバーした。今年春に水害が発生し、予定より50cmほど基礎をかさ上げした。8月26日、27日両日、ライサム学校で図書館の建設の完了を見届け、校長をはじめ、教師や子供たちと交流を行った。交流を通して、この図書館建設は彼らにとってどれほど大切なものか確認できた。

この図書館を使用する子供たちは、ミャンマーから親とともに避難してきた、あるいは、非難してきた親から生まれた無国籍の子供たちである。子供たちは、ミャンマー語もタイ語も話せない。自分の民族の言葉しか話せない。この学校にはタイヤイ（シャンの一部）、ラフ、カレン、ダラーン（カレンの一部）の4つの少数民族の子供たちが在学し、4つの言語、4つの文化、さらに学年においては異年齢の集まりとなっている。

こうしたなかで、図書館はどれほど子供に影響を与えるか、校長は楽しみにしている。図書館は

書物のみならず、パソコンを通して online による授業ができる。無国籍のものはタイ国内においては自由な移動が認められない。図書館は、多様なことを学ぶ機会、そして無限に学べる可能性を与えてことになる。

3) 経済活動の活性化を図る事業

<①途上国の経済的自立に必要な事業>

事業地：マダガスカル共和国アナラマンガ地方フィハオナナ村

Analamanga Region Fihaonana commune

助成団体：なし

事業内容：シナモンの葉からシナモンオイルを生産してフィハオナナの住民の生活向上を図る事業（継続事業）

4) 人材育成事業

<⑥途上国の人たちとの相互交流により国際社会に通ずるリーダーを育成するために必要な事業>

事業地：タイ王国

助成団体：三菱 UFJ 国際財団

助成金額：500,000 円

事業内容：「少数民族とともに国際社会を考えるセミナー」

「少数民族(ミャンマーからの避難民)と共に国際社会を考えるセミナー」では、テーマを「しあわせとは何だ」に設定し、レイサム学校と国境の村の2か所で、交流を行った。私たちは彼らに現状の厳しさについて、また、現在、求めていることについて尋ねた。その回答は、あまりに身近な言葉だった。

今回は、ファング地区レイサム学校でミャンマーから避難して来た子供たちに小学校教育を行っている若い人たちと、そして、タイとミャンマーの国境の村で、一週間前に避難して来た人たちと面会し、状況説明を受け、質疑を交わした。

ミャンマーからの避難民は、無国籍となり、こののちの生活に対して不安はあるにせよ、かつての生活よりむしろ現状を受け入れて、平常心を保ちつつ生活をしているように見受けた。彼らにとっては、平常心を持つことこそ、幸せな心の状態であると思われた。

5) 古着の寄贈事業

事業地：マダガスカル共和国

事業内容：アンボヒダバの子供たちへの古着の寄贈（T-シャツ）

寄贈者： NPO 法人ホームビジットとんとん 森崎 シヅ子様

6) 環境保全事業

<④自然環境の再生を図る事業>

事業地：日本国内

助成団体：なし

事業内容：MadaBirds プロジェクト

プロジェクトは協力団体の SAKURA がマダガスカルで展開する「Bird

school as a gateway to environmental education」であり、自然環境の問題を子供
ころから意識させる教育を「鳥」を通じて行うプロジェクトである。

以上

写 真 報 告

1) 環境保全事業

事業内容：マダガスカル其自然再生（植林活動）

①植樹予定の苗床と数年前に建設した苗床のための建物



この苗床を中心に村の植樹指導者や住民たちが苗床での育成に努めだした。

②Amparihitsokatra（アンパリヒトオチャ村）





2) 図書館建設事業

<③途上国における教育水準の向上に必要な事業>



完成された図書館の前で



左から新田(2人目)、通訳、校長、ワチラ



洪水被害防止のためにかさ上げした玄関

4) 人材育成事業

アイユーゴー通信第34号ならびに同増刷版を参考のこと

以上

2022（令和4年）年度

国内事業報告

1 総会

1. 開催日時：2022(令和4)年5月21日(土)午後3時00分～5時30分

1. 開催場所：ミュンヘン曾根崎店（06-6311-3381）

1. 総社員数：21名

1. 出席した社員数：18名、内訳 本人出席 9名、委任状出席 9名

1. 審議事項：役員改選について

1. 議長選任の経過

定刻に至り司会者岩見和孝開会を宣し、本日の社員総会は定款所定数を満たしたので有効に成立した旨を告げ、議長の選任方法を諮ったところ、満場一致をもって中西省吾が議長に選任された。続いて議長から挨拶の後議案の審議に入った。

1. 議事の概要及び議決の結果

第1号議案 事業報告書、財産目録、貸借対照表および収支決算書付議の件
議長は、理事長より本案について付議された旨を述べ、これを議場に諮ったところ、満場一致をもって異議なく可決決定した。

第2号議案 役員任期満了につき改選の件

議長は、役員全員が任期満了につきその改選方を議場に諮ったところ満場一致をもって、次のものが理事に選任され、被選任者は、いずれも席上即時その就任を承諾した。

理事 岩見和孝（重任） 理事 内田浩幸（重任）

理事 各務宇春（重任） 理事 加藤鐘三（重任）

理事 河地一夫（重任） 理事 久保彰人（重任）

理事 昆布孝子（重任） 理事 坂本清美（重任）

理事 塚田充広（重任） 理事 中西省吾（重任）
理事 新田香織（重任） 理事 新田幸夫（重任）
理事 林 陽一（重任） 理事 丸谷貴紀（重任）
理事 森川嘉夫（重任） 理事 ポーレン パトリック（重任）
監事 片岡一延（重任）

第3号議案 議事録署名人の選任に関する事項

議長から、次の者を議事録署名人に選任したい旨を述べ、これを議場に諮ったところ、満場一致をもって次の者が議事録署名人に選任された。

議事録署名人 内田浩幸

同 塚田充広

以上をもって社員総会の議案全部の審議を終了したので、議長は閉会を宣し、午後5時00分散会した。

上記の議決を明確にするため、議長および議事録署名人において次に記名押印する。2022(令和4)

年5月21日

特定非営利活動法人アイユーゴー

社員総会において

議長 中西 省吾

議事録署名人 内田 浩幸

同 塚田 充広

2 理事会

1. 開催日時：2022(令和4)年6月19日(日)午後4時30分～5時30分

1. 開催場所：

1. 理事総数：16名

1. 出席した理事数：16名

(岩見和孝, 内田浩幸, 各務宇春, 加藤鐘三, 河地一夫,
昆布孝子, 久保彰人, 坂本清美, 塚田充広, 中西省吾,
新田香織, 新田幸夫, 林陽一, 森川嘉夫, 丸谷貴紀, ポーレン パトリック)

1. 審議事項 理事長の選定について

1. 議事の経過の概要及び議決の結果

上記の通り理事全員が出席したので、理事新田幸夫が選ばれて議長となり、議長席に着き、議案の審議に入った。

議案 理事長及び副理事長選定の件

議長は、定款第13条の規定に基づき、理事長1名及び副理事長3名を選定したい旨を述べ、議場に諮ったところ、全員一致をもって、下記の者が選定された。なお、被選定者は、席上即時その就任を承諾した。

理事長 新田幸夫 大阪府泉南郡熊取町山の手台1丁目22番10号

副理事長 中西省吾 岡山県苫田郡鏡野町馬場767番地

同 森川嘉夫 大阪府富田林市金剛伏山台5番6号

同 加藤鐘三 愛知県名古屋市南区豊三丁目30番5号

1. 議事録署名人の選任に関する事項

議長から、次の者を議事録署名人に選任したい旨を述べ、これを議場に諮ったところ、満場一致をもって次の者が議事録署名人に選任された。

議事録署名人 久保彰人

同 森川嘉夫

以上をもって社員総会の議案全部の審議を終了したので、議長は閉会を宣し、午後5時30分散会した。

以上の議事の経過の概要及び議決の結果を明確にするため、この議事録を作成し、議長および議事録署名人が記名押印する。

2022(令和4)年6月19日

特定非営利活動法人アイユゴー理事会

議長 新田 幸夫 法人印

議事録署名人 久保 彰人 印

同 森川 嘉夫 印

2022 年度における熊取会議と AMB (アイユーゴーミーティングバー)

1. 熊取会議

日 時：2022 年 4 月 2 日 17 時 30 分から

会 場：ワンカルビ 熊取店

内 容：AMB に関して

1) AMB (アイユーゴーミーティングバー) の開催したことについて

日 時：3 月 15 日(水) 19 時 30 分から 21 時まで

参加者：岩見、臼井、加藤、久保、塚田、Haja、Pat、新田

2) AMB の協議内容：T-シャツプロジェクト

2. 浜松会議

開催日時：2022 年 8 月 20 日 15 時から

会 場：ジ・オーシャン 静岡県浜松市西区舞阪町舞阪 3285-88

参加者：岩見、内田、中西、塚田、新田、伊藤 (ゲスト)

内 容：マダバードの第 2 次展開の考えについて

1) 浜松バージョン

2) 熊取バージョン

3. 熊取会議

日 時：2022 年 9 月 11 日 15 時から

会 場：珈琲館 熊取店

参加者：岩見、臼井、久保、新田

協議内容：マダバードの第 2 次展開について

1) 浜松バージョン

方針：先行投資はしない

2) 熊取バージョン

方針：MadaBirds のブランド化を狙う。

4. 熊取会議

日 時：2022 年 10 月 02 日 17 時から

会 場：アルファー 1 熊取店

参加者：岩見、久保、Pat、新田

協議内容：

1) AMB に向けて

予定日時：10 月 5 日 (水) 19 時 30 分より

2) マダバードの第 2 次展開について

(1) いつ始めるか

(2) 始めるために必要なこと

5. AMB (Aiyugo Meeting Bar)

日 時：2022年10月12日19時30分から21時まで

会 場：ON LINE

参 加：岩見、内田、加藤、久保、中西、Haja、新田

協議内容：マダバードの第2次展開について

6. 熊取会議

日 時：2023年2月13日（火）17時00分

集合場所：久保クリエイト事務所

参加予定者：岩見、久保、新田

内 容：今後の事業と担当についての意見交換

7. 熊取会議

日 時：2023年1月28日（土）17時30分 （集合）

集合場所：熊取駅前

参加予定者：岩見、久保、臼井、新田

内 容：2023年度事業についての意見交換

以上